

JFA第43回全日本U-12サッカー選手権大会兵庫県大会要項

- 1 日 時 2019年11月17日(日)・24日(日)・12月1日(日)
- 2 会 場 みきぼうパークひょうご
- 3 主 催 公益財団法人 日本サッカー協会
公益財団法人 日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団
読売新聞社
一般社団法人 兵庫県サッカー協会
- 4 主 管 一般社団法人 兵庫県サッカー協会第4種委員会
- 4 後 援 日本テレビ放送網／報知新聞社
- 5 特 別 協 賛 YKK／花王
- 6 協 賛 日本マクドナルド／日清オイリオグループ／ゼビオ
- 7 開 催 協 力 モルテン
- 8 参加資格
 - 1) 日本サッカー協会第4種に加盟登録した団体およびその団体に所属する選手で日本サッカー協会発行の登録選手証を有し試合開始前に提出出来ること。
 - 2) 参加チームはU-12リーグに参加していること。
 - 3) 引率指導者は、参加チームを掌握指導する責任ある指導者であること。また、内1名以上が日本協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。
 - 4) 県下13地区の代表チームであること。
 - 5) 大会参加チーム数は、合計40チームとし、エントリーの内訳は、次のとおりとする。
 - ① 兵庫県4種トップリーグ1部参加10チーム。
 - ② 各都市協会の代表チーム枠数を今年度の登録チーム数により出場枠を決定する。
(複数チームが参加する地区は、チームを跨いだ編成で出場することは出来ない。)
 - 6) 選手は、必ずスポーツ傷害保険に加入し、参加について保護者の同意を得ていること。
- 9 競 技 規 定
 - 1) ルール 日本サッカー協会競技規則(8人制)で、本年1月1日現在で伝達された内容とし、1人審判制とする。
 - 2) ピッチ タッチライン 60～80m・ゴールライン 40～50mを基本とするが、タッチライン 68m・ゴールライン 50mが望ましい。ゴールの大きさは、少年用(内径で高 215cm 幅 500cm)とする。
 - 3) 試合人数 8人制とする。
 - 4) 試合球 日本サッカー協会公認4号ボールとする。
 - 5) 登 録
 - ① 選手登録人数は、8名以上25名以下とする。
 - ② 登録出来る選手は、5・6年生とする。
 - ③ 試合の選手エントリー人数は登録選手のうち16名以内とする。
抽選会までに行なうチーム登録・選手エントリー表の提出をもって登録とする。
 - ④ 都市協会予選から兵庫県大会に至るまで同一参加選手が、異なる加盟チームへの移籍後、再び参加することは出来ない。
 - ⑤ 大会当日、指定された時間までに、選手エントリー表の提出を行う。
 - ⑥ 試合開始時に、選手8名が揃わない時は得点を0対3として敗戦したものとみなす。(試合中の怪我等による人数不足により8名に満たなくなった場合は、そのまま続行する。ただし、6名に満たなくなった場合は、その時点で敗戦したものとみなす。得点は0対3とする。)
選手証の確認出来ない選手はベンチ入り出来ない。
 - 6) 試 合
 - ① 試合時間は40分とし、ハーフタイムは10分を超えないものとする。
 - ② 同点の場合で勝敗の決しない場合は、PK方式(3人)で決定する。
但し、準決勝戦より10分の延長を行い、なお決しない場合はPK方式で決定する。
ただし、3位決定戦は延長を行わず、PK方式で決定する。

延長に入る前のインターバル:原則5分間

ペナルティキック方式に入る前のインターバル:原則1分間

- 7) 選手交代 自由な交代とし、登録選手の中から補助審判への申告後に、交代ゾーンでまず交代選手が退場した後に次の選手が入場出来る。
- 8) 反則退場 ① 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することが出来る。
② 本大会中警告は累積し、累積警告が2回になった選手および同一試合で2回の警告により退場になった選手は、本大会の次の試合に出場出来ない。
③ 試合中退場処分を受けた選手は、自動的に本大会の次の試合の出場を停止する。
④ その他不祥事により協会の名を汚した場合は、県協会規律フェアプレー委員会で処分を決定する。
- 9) ユニフォーム ① 靴は、ゴム底またはゴム質のポイントに限る。
② ユニフォームは、GK を含む出場選手全員必ず色違いを2セット(シャツ・パンツ・ソックスで1セット)用意すると共に、背番号は今大会期間中統一した番号を使用すること。
③ 試合当日、2組のユニフォームを用意していないチームは棄権とする。
④ 兵庫県大会では、ユニフォームへの広告掲載は日本協会が認めた者に限る。
⑤ FPがGKをする場合は、基本的に確認事項による。
- 10) ベンチ ベンチ入り人数は、選手登録表に登録された選手のうち16名以内と登録されたチーム役員のうち2名以上3名以内(うち1名は日本協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること)とする。また、ピッチと観覧席が分離された場合ではピッチにも適用する。
- 11) 雨天時 ① 雨天決行。但し、天災、警報等(開催地での気象など)で開催が危ぶまれる場合は、県4種委員会で協議し決定する。
② 大会中急な天候の変化による落雷等の危険性が高まった時は、直ちにその試合を停止し平穏になってから再開(リスタート)する。再開方法は、当日行う場合と同様のリスタートとする。
- 12) その他 この要項に無い事項が発生した場合は、「確認事項」によるものとする。それでも解決しない場合は、4種委員会の協議によって決定する。

10 規律フェアプレー

大会参加選手および指導者は、競技規定を遵守し、JFAサッカー行動規範に則り大会に臨むこと。

- 1) 選手・指導者は、相手選手のみならず自軍選手に対してもリスペクトの精神と態度で臨むこと。
- 2) 応援者(含、保護者)は、少年スポーツであることをわきまえ、その言動には十分注意すること。

11 表彰

- 1) 優勝チームには、日本サッカー協会より トロフィー・表彰状を授与する。
- 2) 2位・3位・4位チームには、日本サッカー協会より表彰状を授与する。
- 3) 特別協賛社より、努力賞・グッドマナー賞を各々該当するチームに授与する。
- 4) 優勝チームには、県協会より奨励金を贈呈する。
- 5) 優勝チームには、決勝大会の参加資格を与える。但し、フェアプレーの精神から兵庫県代表として、ルール上の完全な違反行為があった場合はこの限りでない。

12 疾病予防

- 1) 選手は、予め医師の診断を受け、異常の無いことを確認したうえで参加出場すること。
- 2) 選手・指導者は、身体に異常を感じた場合、参加出場することの無いようにすること。
- 3) 負傷した時の処理は、協会は一切責任を追わないので当該チームが責任を持って行うこと。

13 大会の問合せ(但し、出場チーム代表から、地区4種委員長へ問合せください。)

- 1) 兵庫県サッカー協会第4種委員長 仲 義 之
- 2) 大会実施委員長 大 橋 勝 彰

4種委員会確認事項(8人制大会)

1 県大会エントリーについて

- 1) 県大会は、当該チームで選手登録をし、選手証の確認出来る選手25名までエントリーできる。
- 2) 試合のベンチ入り選手数は登録選手のうち16名(チビリンは18名)以内とする。
- 3) 「自由な交代(リエントリー制)」を採用する。(チビリンは別途大会要項による)
- 4) エントリー表の提出は各大会の抽選会までに行い、提出後の変更は選手名および登録番号の「移籍・追加・誤記」等いかなる理由があっても認めない。
- 5) 県大会では、選手登録表提出時に当該チームでの選手証を確認出来る事が条件である。また、抽選会で電子選手証が提出出来ない場合は、出場出来ない。
- 6) ベンチ入りするチーム役員のうち1名は必ず指導者資格を有し、大会当日資格証を有している事。
- 7) 組合せ抽選会を大会2週間前までに行う。場所は、開催地協会が決定する
大会参加費は、抽選会までに県協会に納付し、納付確認が出来るものを抽選会時に持参すること。

2 ユニフォームについて

- 1) ユニフォームは、(公財)日本サッカー協会の当該年度制定ユニフォーム規程に準ずる。
- 2) ユニフォームは「シャツ・パンツ・ソックス」3点が1セットで、全選手とも色違いを2セット用意すること。
当日に用意されていない場合は、どのような理由があっても棄権として取り扱う。
- 3) GK用ユニフォームが無いFPが緊急事態で急きょGKをする場合は、FP用で試合に着用していないユニフォームが、相手チームのユニフォームと、審判の判断で明確に色が異なる場合はFP用を着用することが出来る。
着用していないFP用ユニフォームが、審判の判断で相手チームと明確に見分けのつかないユニフォーム色の場合は、退場するGKのユニフォームを着用して出場することが出来る。
緊急事態とは、大会当日の試合中における負傷退場等による場合。
- 4) 背番号は、ユニフォーム2セットとも同一番号とし、1人に1つの番号を付する。
- 5) ユニフォームの色については、本部で決定する。
- 6) 試合中、待機選手はビブス等を着用し、出場選手と紛らわしくない服装をすること。
- 7) 平成22年4月以降は、新調する場合には黒系統を避けて1セットは白色とすること。
- 8) 問題が生じた場合、審判員は大会本部と協議をし決定すること。

3 試合について

- 1) リーグ戦の場合は一つのリーグに同一地区のチームは2つ以内とする。
- 2) 飲水タイムの時は、選手がピッチを出たり、指導者がピッチに入ったり指示を与える事は出来ない。
- 3) 審判と大会本部は、事前打合せを行い全体の調整をしておくこと。
- 4) 雷雨について
 - ① 日本サッカー協会の指導と共に、選手に受ける身の危険を回避するために雷の発生時には、試合を速やかに停止し、選手だけでなく観戦者を含む関係者全員が退避するように促すこと。
 - ② 試合の再開は、当該試合の残り時間を行うこととする。当日に再開できない場合であっても、当日に再開する場合と同様とする。そのため、選手変更、ユニフォーム変更などは原則認めない。
 - ③ 審判員は、必ず事項を記録し、事後の再開に支障が出ないようにすること。

- 6) 試合中の指示は、指示できる場所、人数、言動などを十分に注意すること。補助審から注意を受けた場合は、素直に従うこと。目に余る場合は退席処分とし、事後大会本部から該当チーム役員および所属地区4種委員長に厳重注意をするとともに同大会次の1試合はベンチ入りできないものとする。

4 大会運営について

- 1) 大会運営は、開催地4種委員長を中心に行い、委託事業会計は開催地理事長に、県4種委員会事業は県4種会計担当に速やかに報告してください。
- 2) 開会式は行わない。但し、地区から事前に開催要請があった場合は、県4種委員会で協議し決定する。
- 3) 各コートには、補助審以外に審判部と協力して試合確認ができる者を配置し、円滑な運営とともに不慮の事故などに対応が出来るようにされたい。
- 4) 審判員は、試合後審判報告書を作成し本部に提出をすること。また、退場者が出るなど問題が生じた場合は審判報告書(重要事項)を作成し、必ずその日に対応方法を本部等と協議しておくこと。
- 5) 審判員の派遣は、県4種委員会より各都市協会に派遣依頼をする。

6 その他

- 1) 選手登録・エントリー表の提出は、必ず地区4種委員長がユニフォーム色・選手登録の有無などを確認して、開催地4種委員長等にデータで送付すること。(できれば、地区4種委員長が送付されたい。)
- 2) 開催地協会は、駐車場対策として、有料無料を問わないので最低限(チーム用数台・主催者役員用・後援(協賛)社用)の駐車場を確保してください。
- 3) 開催地は、試合2日目出場チームが宿泊施設を低額にて利用できる場合には、宿泊をセットした実施計画を立てることが出来る。
- 4) 出場選手の本部への挨拶は、指導者のみとする。試合時等のあいさつも、選手・監督等に関わらず握手をもつて行う。
- 5) 各チームは、負傷時の対応のために必ず救急薬品等を用意すること。
- 6) 大会に関する問合せ等は、チームの代表者から地区第4種委員長を通じて行うこと。決して、チームの一員から問合せをしないようにしてください。
- 7) 大会運営中に起きた事柄を県協会・主管協会に申し出をせずに、個々の主観により勝手な判断した内容を文章やインターネットを通じて他の者に対して誹謗や批判をする行為をした者は、県4種委員会及び県規律フェアプレー委員会により厳罰に処する。
- 8) 関西大会に出場するチームは、県大会(予選)時に選手登録をしていた自チーム選手の中からエントリーすること。県大会後の移籍による出場は、関西大会では認められないことに注意すること。
チビリンピック関西大会では、3ピリオッド制のため最低16人登録が必要なため登録人数が不足する場合は出場出来ないものとする。